

令和4年度 都市政策部運営方針

部局名 : 都市政策部

部局長名 : 山野 真範

基本方針（政策目標）

本市の都市づくりは、「泉大津市都市計画マスタープラン」「泉大津市立地適正化計画」等に基づき、頻発化する自然災害、ポストコロナ、激変する社会情勢に対応するため心身共に豊かな生活環境、持続可能な都市づくりをめざし、令和4年度においては、以下の事業に取り組んでまいります。

- ① かつて賑わいのあった泉大津駅西地区の活性化を図るため、歩行者・自転車の安全性の確保、有事の際の避難路並びに、緊急車両通行路の確保等を目的に、都市計画道路泉大津駅前通り線の整備を進めます。
- ② 「シーパスパーク」エリア（市民会館跡地）については、みんなで創る未来の公園として、使いこなす公園をめざし、公園を自立的に運営できる市民組織づくりを促進するとともに、民間活用用地における民間事業者の参画に向け取り組みます。また、小松緑道円形広場では、シーパスパークの市民組織と連動し、スケーターによる使いこなしが醸成されており、シーパスパークの整備と併せてスケボー広場の整備も進めます。
- ③ 令和2年度より実証実験を進めている市内の公園、街路樹における除草作業の包括管理及び利用頻度の低い公園を活用し、市民が土に触れる機会の創出を進めているところであり、これまでの成果も踏まえ、令和5年度からは民間事業者の安定的な運営、市民への利活用の促進を図るため長期間の包括委託に向けて、準備を進めます。
- ④ 市民が安全快適に暮らせるまちをめざし、空家等の適正管理や除却の勧奨を行います。
- ⑤ 市民が安心して、快適に暮らせる環境を構築するため、住宅マスタープランに基づき、寿市営住宅及び二田市営住宅の建替えについて民間活用におけるスキーム検討を進めます。
- ⑥ 近年、頻発化する大規模災害への備えとして、また、高度成長期以降に整備された多くのインフラ施設の老朽化に対して、道路施設の点検、維持管理、更新を進めます。また、本市基幹道路でありますJR阪和線を跨いでいる泉大津中

央線跨線橋の改修工事に着手します。

- ⑦ 本市の特徴である平坦なまちの状況から市民の移動の約7割が徒歩と自転車であり、過年度より推進している自転車ネットワークを、令和4年度では舗装の改修と併せて南海中央線（池浦地区）を進めます。
- ⑧ 公共施設適正配置基本計画等も鑑み、適正な土地活用が図れるよう地籍調査を進めます。
- ⑨ 「泉大津市環境基本計画」の改定に取り組み、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組みを官民連携・市民共創で推進し、「きれいにしよか！いずみおおつ」をスローガンに、まちが美しくあるために、市民・民間事業者の美意識の高揚を図り、地域の清掃活動を推進します。
- ⑩ 水道事業を取り巻く社会環境の変化や自然災害をはじめとする不測の事態にも的確に対応し、安全で良質な水を安定的に供給するため、水道施設の計画的整備、更新の強化に努めます。
- ⑪ 安定した給水、効率的、効果的な運営を図るため、大阪広域水道企業団への統合に向けた検討を進めます。
- ⑫ 近年、頻発化する大規模災害への備えとして、また、高度成長期以降に整備された多くのインフラ施設の老朽化に対して、下水道施設（ポンプ場、幹線管きよ等）の適正な維持管理を行っていきます。
- ⑬ 近年の降雨状況等を踏まえ、雨水整備に当たっての優先順位を構築するため、令和4年度、5年度において、雨水整備計画の策定に着手していきます。